

三洋貿易株式会社(証券コード：3176) 会社説明会

世の中の課題解決に貢献し、人と地球の笑顔をつくる



代表取締役社長 新谷 正伸

2026年7月18日

自己紹介



代表取締役社長

新谷 正伸

Shintani Masanobu

基本情報

東京都東村山市出身 68歳

経歴

1958年	東京生まれ
1982年	早稲田大学卒業
1982年	三洋貿易株式会社 入社
2004年	Sanyo Trading Asia Co., Ltd. 社長
2008年	東京ゴム3部長
2012年	執行役員 Sanyo Corporation America 社長
2013年	Sanyo Trading (Shanghai) Co., Ltd. 董事長
2014年	取締役兼執行役員経営戦略室長
2018年	代表取締役社長兼社長執行役員(現任)

座右の銘

「人事を尽くして天命を待つ」

趣味、写真



VISION

世の中の課題解決に貢献し、人と地球の笑顔をつくる

スローガン

Quest for Next よりよい未来(最適解)を探求する

企業概要

会社名	三洋貿易株式会社 (証券コード:3176)
創業	1947年5月
資本金	10億658万円
代表者	代表取締役社長 新谷 正伸
所在地	東京都千代田区神田錦町2-11
発行済み株式数	29,007,708株
株主数	10,015名

※2025年9月30日時点



初代社長
玉木榮一

-先人訓-

品格「社格を下げるものはやるな」

人材「商社は人である。教育は命である」

信用「信用こそ商人の生命線」

自由闊達な社風



社員の成長＝会社の成長
「人のSanyo」

01

- 01 当社の業績・強み
- 02 ビジネスモデル・高収益性
- 03 成長戦略

At a Glance

※2025年9月期

売上高
—
132,703百万円
5年連続
過去最高更新

営業利益
—
6,430百万円


連結従業員数
—
747名

単体従業員数
男性 **210名** 女性 **113名**
女性比率 **35.0%**

営業社員理系出身比率
54%

ROE
—
9.3%
高い株主資本効率

ROIC※1
—
8.2%
高い投下資本効率


海外拠点数
—
10力国
15拠点

ユニークネス

People Company

パートナーシップモデル

三洋貿易のユニークネス

よい仕事

高付加価値商材

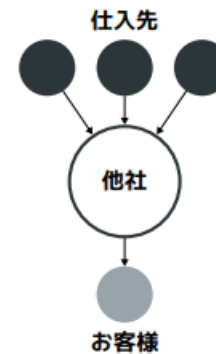
三洋貿易

当社は「1商品1仕入先」を基本方針とし、長期的な戦略的パートナーシップを重視しています。一方で、販売先については特定の系列に縛られることなく、すべてのお客様と取引できる独立系商社ならではの強みを発揮しています。



他社

系列系商社の場合、仕入れは価格条件を比較しながら都度仕入先を決定する「二社購買」「三社購買」が一般的です。しかし、販売先については系列の制約があるため、取引範囲が限定されます。



セグメント別構成比率

- ファインケミカル、インダストリアル・プロダクツ、ライフサイエンスが約3割ずつの売上
- サステナビリティは今後成長が見込まれるセグメント

ファインケミカル

分野：合成ゴム、塗料、インキ、コーティング

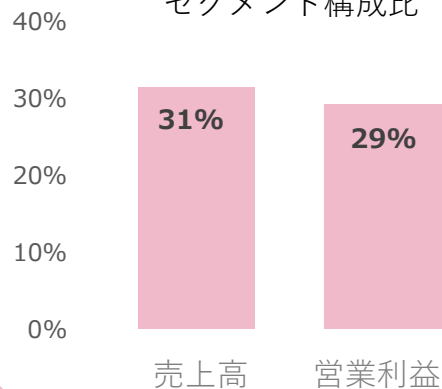


ゴム関連



化学品関連

セグメント構成比



インダストリアル・プロダクツ

分野：あらゆる移動体



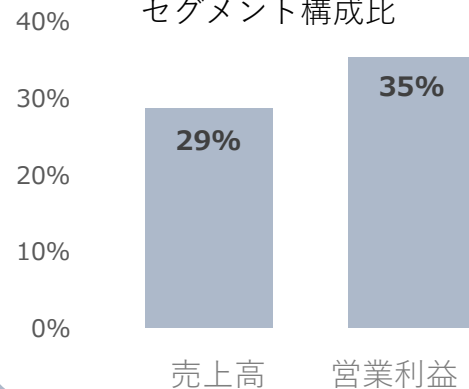
自動車内装部材



スキャニングによる
ベンチマーキングサービス



セグメント構成比



サステナビリティ

分野：再生可能エネルギー（バイオマス、地熱、海洋）、畜産飼料



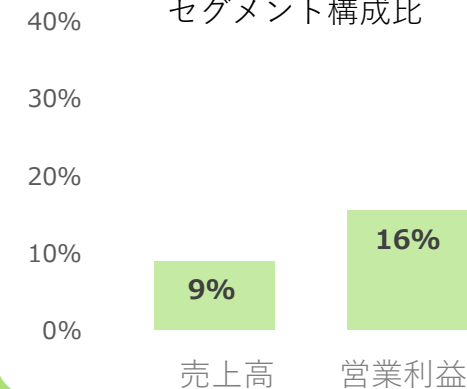
木質バイオマス関連



洋上風力
海洋調査関連



セグメント構成比



ライフサイエンス

分野：食品添加物、化粧品、在宅医療、科学機器、バイオテクノロジー

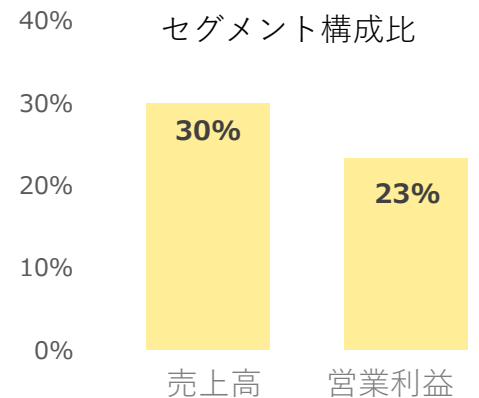


電子材料



評価装置

セグメント構成比



注:セグメント別売上高・営業利益比率は、連結調整前の数値をもとに算出。「その他」を記載していない為、合計は100%となりません。

業績推移

■ 2012年の上場から10年余年。上場以降、安定した成長を継続中

上場(2012年)以降の業績

売上 : **2.8倍** (年平均成長率**8.1%**)
営業利益 : **2.9倍** (年平均成長率**8.4%**)

■ 売上(百万円)

■ 営業利益(百万円)

1947年5月
旧三井物産の解体に伴い、
神戸を本店として設立

1947

設立

2012

2013

上場

2012年：東証第二部
2013年：東証第一部

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

上場から
2.8倍

売上
132,704百万円
過去最高

上場から
2.9倍

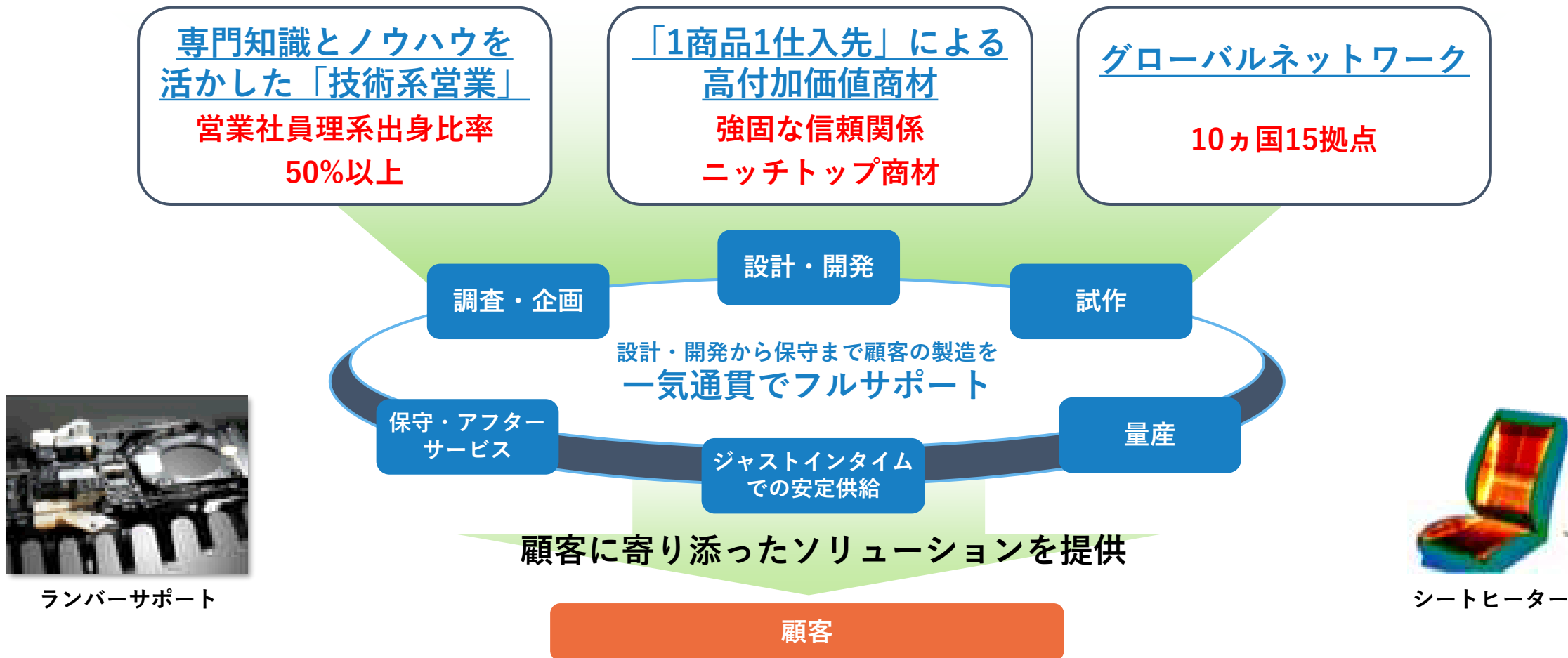
営業利益
6,430百万円

02

- 01 当社の業績・強み
- 02 ビジネスモデル・高収益性
- 03 成長戦略

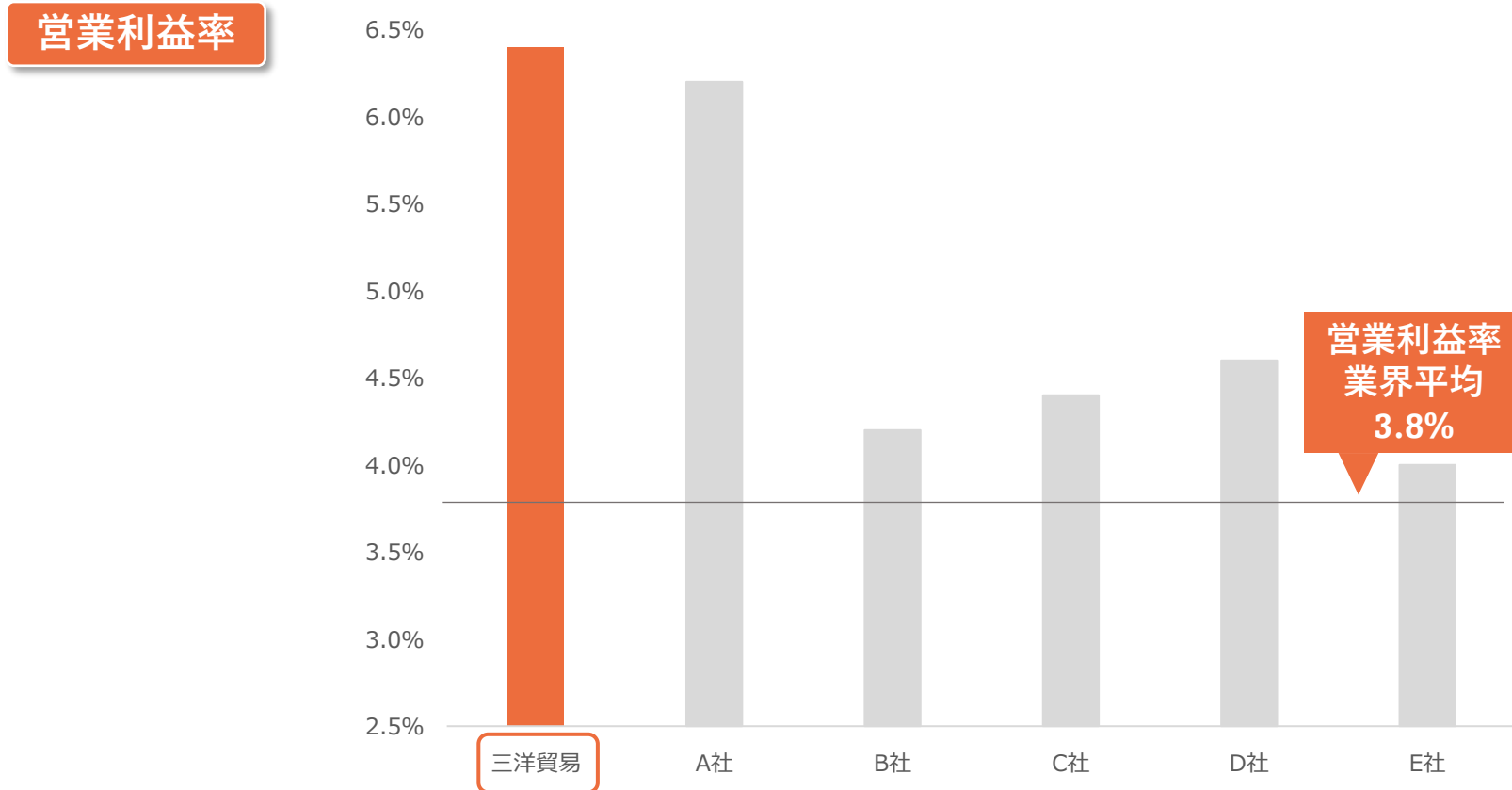
三洋モデル (一気通貫モデル)

- 開発から保守までのソリューションを提供する技術営業力
- トップメーカーとの強固な長期的パートナーシップをベースに、高付加価値商材を提供



高収益性

■ 同業他社比で高い利益率



* 比較会社：三洋貿易、専門商社 合計11社 以下五十音順

(稲畑産業、岩谷産業、岡谷鋼機、極東貿易、第一実業、蝶理、長瀬産業、明和産業、ユアサ商事、GSIクレオス)

* 2026年3月期通期実績(三洋貿易は2026年9月期上期実績)の値。上記A～E社はその中の上位5社

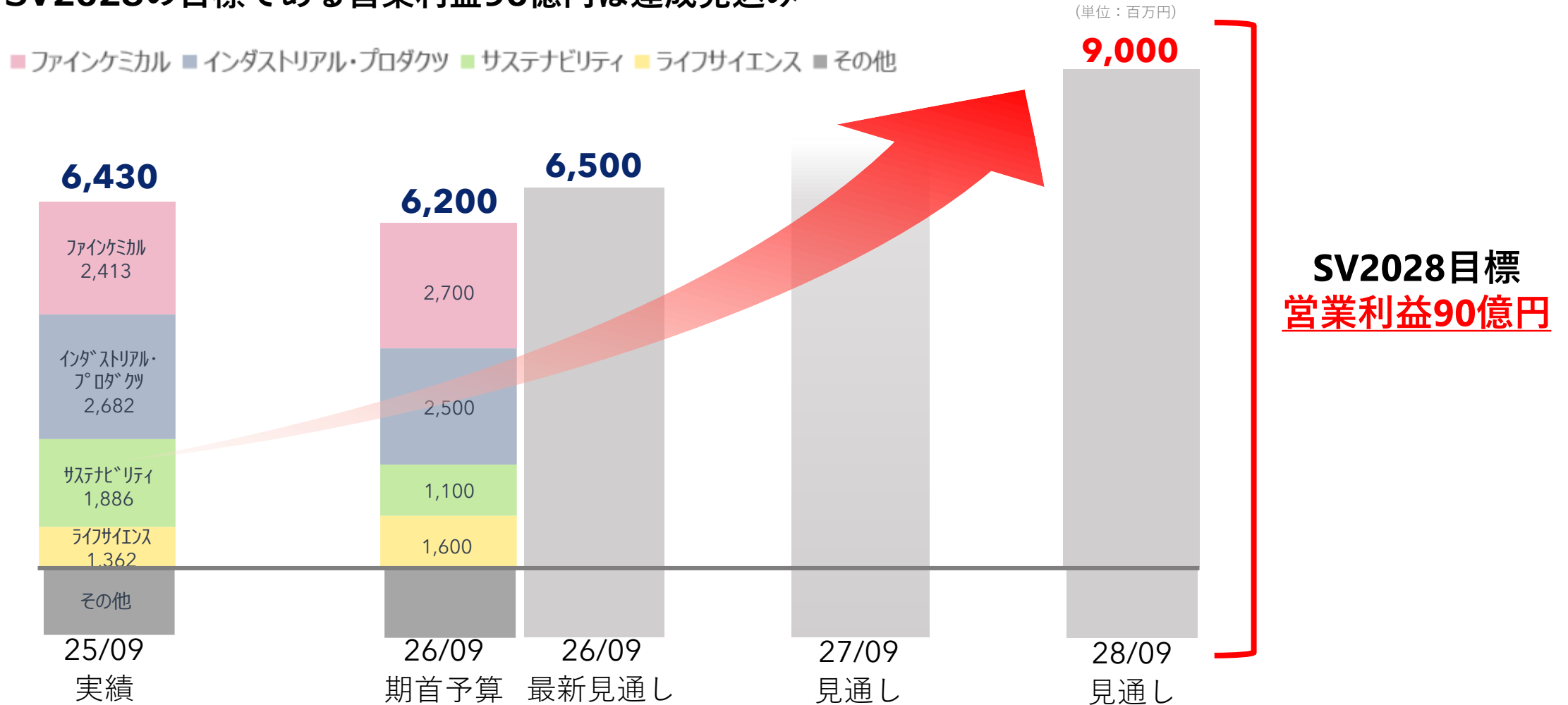
* 引用元：有価証券報告書

03

- 01 当社の業績・強み
- 02 ビジネスモデル・高収益性
- 03 成長戦略

セグメント別 営業利益 実績および見通し

- 2026年9月期は踊り場となるも、2027年9月期以降に新規案件が順次収益貢献予定
- SV2028の目標である営業利益90億円は達成見込み



* 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業を含んでいます。(株)コスモ・コンピューティングシステムは「その他」に含みます。

事業セグメントと注力事業

- 成長ポテンシャルの高い成長事業・育成事業における多様な商材・サービスの展開
- 当社の強みである専門性・技術力および堅固な財務基盤を活かした戦略的投資による事業強化

赤字：最注力事業

ポートフォリオ	事業セグメント			
	ファインケミカル	インダストリアル・プロダクツ	サステナビリティ	ライフサイエンス
育成事業	- 天然由来素材 - 次世代用途の機能性素材 - 電材ケミカル	- EV保守メンテナンス機材 - 環境対応表皮 - 高周波同軸ケーブル	- 洋上風力発電関連機材 - 新素材フィルム - カーボンニュートラル関連	- 化粧品関連 - 農業関連 - タンパク質解析/バイオインフォマティクス
成長事業	- 機能性ゴム素材 - 副資材(ゴム) - 接着剤原料	自動車ベンチマーキング	- 木質バイオマス関連機材 - 海洋資源開発・調査関連	- LiB関連部材含む電材 - 食品添加物 - 新機能性飼料
基盤事業	- 基幹ゴム商材 - インキ原料 - 塗料・コーティング原料	自動車内装材	- ペレットミル - 地熱開発関連機材	- 科学機器 - フィルム - SAP ・染料/香料 - 各種 機能性原料 - バイオ関連装置/試薬
要検討事業	低収益・低成長事業			

戦略的なM&A・事業投資で強化

スローガン

動物、人そして環境にやさしく

おいしいミルクや、おいしいお肉、おいしい卵をあたえてくれる生きものたちに
役立つ品々を、世界の国々から技術と情報と安心を添えて、お客様におとどけます

企業概要

創業1984年

2019年
三洋貿易グループ参画

機能性飼料原料、
飼料添加物等の輸入商社



商品紹介(幾つかサンプルがございます)

サンプル有
スーパーカーフ
ジャケット



子牛用の
冬用ジャケット

サンプル有
ボビレックス



牛床用マット

サンプル有
ドライフィルム



母牛の乳頭を
保護

ミズカ
バインダーZ



国産のカビ毒
吸着資材

アクティサフ



活性型酵母

M&Aを含む投資の基本方針

総額200～300億円の成長投資を予定(24/9～28/9の5年間)

～良質案件を厳選して投資実行～

① 3つの前提条件

事業を強くする
相乗効果

当社の
海外展開加速

将来の
成長性

② 保有方針

長期保有
を原則

自らオーナーシップを持って
事業運営を行う

キャピタルゲイン狙いの
投機はしない

③ 出資比率

マジョリティ取得を基本スタンス

④ 財務規律
(目安)

自己資本比率

50%以上

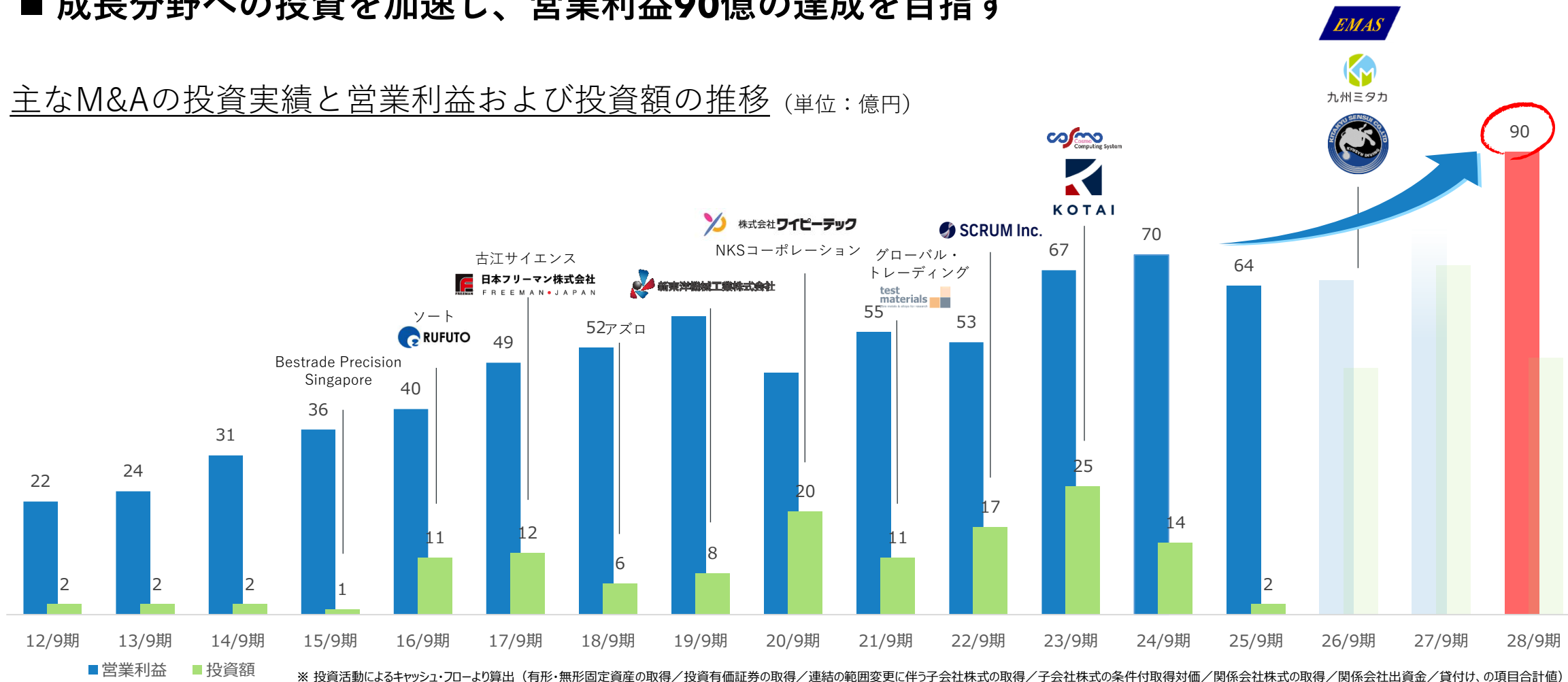
D/Eレシオ

0.5倍未満

M&A過去実績 & 2028年までの成長ストーリー

- 年間1～2件実施のM&Aが着実に利益貢献。足元の投資案件も進捗中
- 成長分野への投資を加速し、営業利益90億の達成を目指す

主なM&Aの投資実績と営業利益および投資額の推移（単位：億円）



【投資戦略トピックス】EMAS社 全株式の取得について

インダストリアル・プロダクツ

(株式譲渡実行日：2025年10月1日)

■ 自動車アフターマーケットへの事業領域拡大を主眼とし、シンガポール法人EMAS社の全株式を取得

【名称】

- EMAS SUPPLIES & SERVICES PTE LTD

【概要】

- 自動車エアコン関連部品を販売するシンガポールの専門商社

【強み】

- 30 年超の業歴を有し、高い専門知識と広い仕入ネットワーク
- 中東および東南アジア中心に世界約50 か国以上に製品を供給

【狙い】

新車向け内装部材提供を主力としたモビリティ事業領域

自動車アフターマーケット市場へ事業を拡大し、
バリューチェーンの機能を多角化



三洋貿易

自動車業界との
強固な関係
グローバル
ネットワーク

EMAS社

高い専門知識と仕入
ネットワーク
中東・東南アジア
へのネットワーク

分野別M&A実績一覧

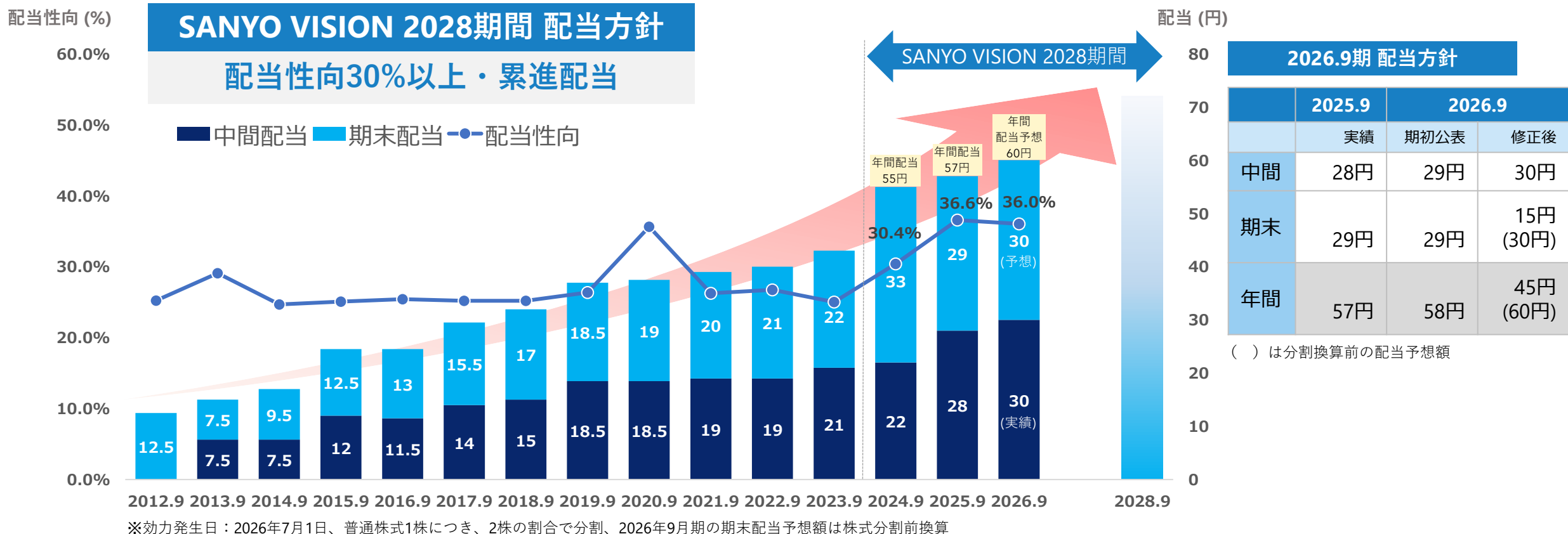
- 注力4分野の事業基盤強化に向け、戦略的M&Aを実施
- 既存事業とのシナジーのあるボルトオン投資を厳選

M&A目的 注力分野	相乗効果	成長性	海外展開	現在の姿
ファインケミカル	2016年 ソート ・UVインキ原料			化学品事業部に統合 SINGAPORE SANYO TRADINGとして事業化
	2015年 Bestrade Precision Singapore ・フィルム、電材			
サステナビリティ	 2019年 ワイピーテック ・飼料添加物			グループ会社
	 2025年 九州ミタカ (ワイピーテック子会社) ・飼料・飼料添加物、畜産用医薬品			
	 2026年 北九潜水 ・海洋調査・点検・工事サービス			
		 2019年 新東洋機械工業 ・耐蝕ポンプ		
ライフサイエンス	2017年 アズロ ・医薬原料	2020年 グローバル・トレーディング ・機能性化学品		ライフサイエンス事業部に統合 三洋ライフマテリアルとして合併 三洋テクノスとして合併 分析機器のみ 科学機器部に統合
	 2020年 テストマテリアルズ ・理化学機器向け試験片	2020年 NKS コーポレーション ・食品添加物		
		2017年 古江サイエンス ・マイクロポンプ		
		 2016年 日本ルフト ・医療機器、理化学機器		
	 2022年 スクラム ・バイオ研究支援機器・試薬の販売			グループ会社
	 2023年 KOTAI ・バイオ創薬支援、遺伝子解析関連サービス			
	 2017年 日本フリーマン ・精密製造副資材			
	 2025年 EMAS ・自動車エアコン関連部品、自動車アフターマーケット			
その他	 2022年 コスモ・コンピューティングシステム ・ソフトウェア受託開発、システム開発			

株式分割の実施・株主還元

- 東証が示す「個人投資家が求める投資単位：10万円程度」をターゲットに、7月に1:2の株式分割実施
- 上半期の業績好調を受け、中間配当を期初予想から**1円増額**
- 株式分割に伴い、期末配当予想額を修正、株式分割前換算で**1円増額**
- 自社株買いも機動的に検討中

< 上場以来13年連続安定配当継続中 >



本日のまとめ

- 三洋貿易ならではの「よい仕事」
- 成長戦略
- 長期安定的な配当増額



その他ご案内

< 統合報告書 2025 >



QRコードはこちら



公式SNS
はじめました



< 公式 Instagram >



< 公式 X >



< 公式 YouTube >



QRコードを読み取ってフォローをお願いします。

様々な情報を掲載しております。
ご興味ただけた方は是非ご覧ください。



Quest for Next